

# ネイチャーセンターだより



## 春国岱・風蓮湖 生きもの図鑑

### アオジ

英名：Black-faced Bunting 学名：Emberiza spodocephala



オスの黄色いお腹が印象的な、スズメと同じくらいの大きさの小鳥です。オスは頭と顔が暗い緑色をしていますが、メスはオスに比べると黒みがなく、全体的に淡い色をしています。

根室には繁殖のために渡ってくる夏鳥です。草むらの中で昆虫や草の種を食べていて、驚くと藪から藪へと低く飛んで移動します。オスは枝の先などの目立つところにとまり、「チョッ、チーチョッ、チロリ」と美しい声でさえずります。

## ネイチャーセンター日記

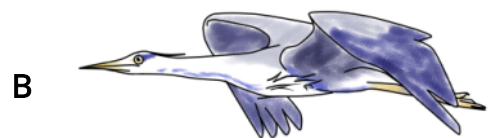
夏の陽射しに木々がたくさんの葉をつけ、自然学習林もすっかり濃い緑におおわれていました。虫たちも活発になり、翅にまだ模様のあるヒヨウモンチョウの仲間や小さなシジミチョウの仲間、すばやく飛び回るセセリチョウの仲間などが、夏の花に集まっています。

この間、自然学習林を歩いていたら、植物の茎に、ももとした白い泡がついているのをみつけました。これは、アワフキムシの仲間が作ったもので、泡の中には幼虫がくらしています。まわりでは、アワフキムシの成虫がぴよんぴよんとジャンプをしながら逃げていました。人の小指の先ほどの小さな体で、よくジャンプができるものだなあと感じました。

虫たちはいつもは見つからないように隠れています。木のすきまや葉の裏をのぞいてみると、不思議な虫たちとの出会いがあるかもしれません。

## ～春国岱クイズ～

夏になると春国岱にたくさんやってくるアオサギ。彼らはどんなすがたで飛ぶでしょうか？正しいものを選んでください。



ヒント：  
アオサギの首のようすに注目！

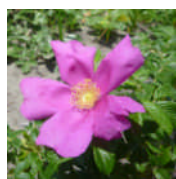
答えは来月号

(先月号の答え C)

# ネイチャーセンターからのお知らせ

## 風蓮湖・春国岱フィールド講座①「草原の鳥を知ろう！」

7月2日の金曜日、草原の野鳥についての学習会を行いました。北海道立総合研究機構の玉田克巳氏を講師に迎え、シマアオジをはじめとした北海道の草原性鳥類の置かれている現状についてお話を伺いました。これまで行われてきた調査データや結果を見せていただきながら、道内での草原性鳥類の増減や分布の変化、エゾシカによる植生変化と野鳥への影響などを分かりやすく説明していただきました。



## 春国岱ぶらっと観察会

春国岱をゆっくりと散策しながら自然を楽しむ「春国岱ぶらっと観察会」を、7月17日の土曜日に行いました。当日は6名の参加があり、春国岱の第一砂丘を往復約8km、昨年11月に分断されてしまった場所まで歩きました。汗ばむほどの暑い陽気でしたが、ハマナスやハマニガナ、ウンランなど、夏の花が楽めたほか、晴天の空を悠々と舞うオジロワシを観察することができました。

# ボランティアの活動

## ■ 植物観察会 毒草・薬草ってなんだろう？ ■

7月19日、根室地方セリハンドブックなどの著者でもある宮野（松下）和江さんを講師にお招きし、ボランティアさんの植物勉強会を開催しました。ネイチャーセンターの坂道沿いにある植物を実際に観察しながら、毒草と薬草をテーマに根室にある植物について教えていただきました。オオバコやシロツメクサ、オオハナウドといった植物が、食べられるのか、薬になるのか、毒になるのかを考えつつ、それぞれの特性について学びました。身近な植物が持つ意外な特性に、参加者からは驚きの声があがっていました。



## フィールドボランティア募集中！！

風蓮湖・春国岱で活動しませんか？

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。



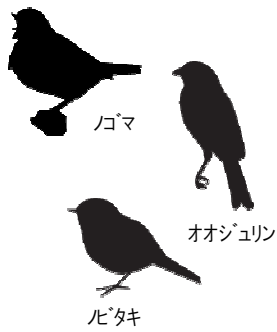
対象：高校生以上

保険料：300円（年間）が必要となります。

【お問合せ】電話 0153-25-3047



# 自然観察路周辺の自然情報 \* 8月 \*

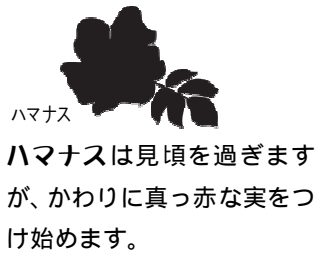


ヒナたちが巣立ち、草原の鳥たちの子育てもいよいよ終盤です。オオジュリンやノビタキ、ノゴマ、コヨシキリなどが、ヨシや木の枝に止まって鳴きます。



オジロシ

干潟におりたり、エサを探して上空を旋回しています。今年生まれの幼鳥の姿をみかけることも。



ハマナスは見頃を過ぎますが、かわりに真っ赤な実をつけ始めます。



タンチョウ

干潟や湿地でエサを探しています。ギンボなどを捕まえて丸呑みする姿も見られます。



アオサギ

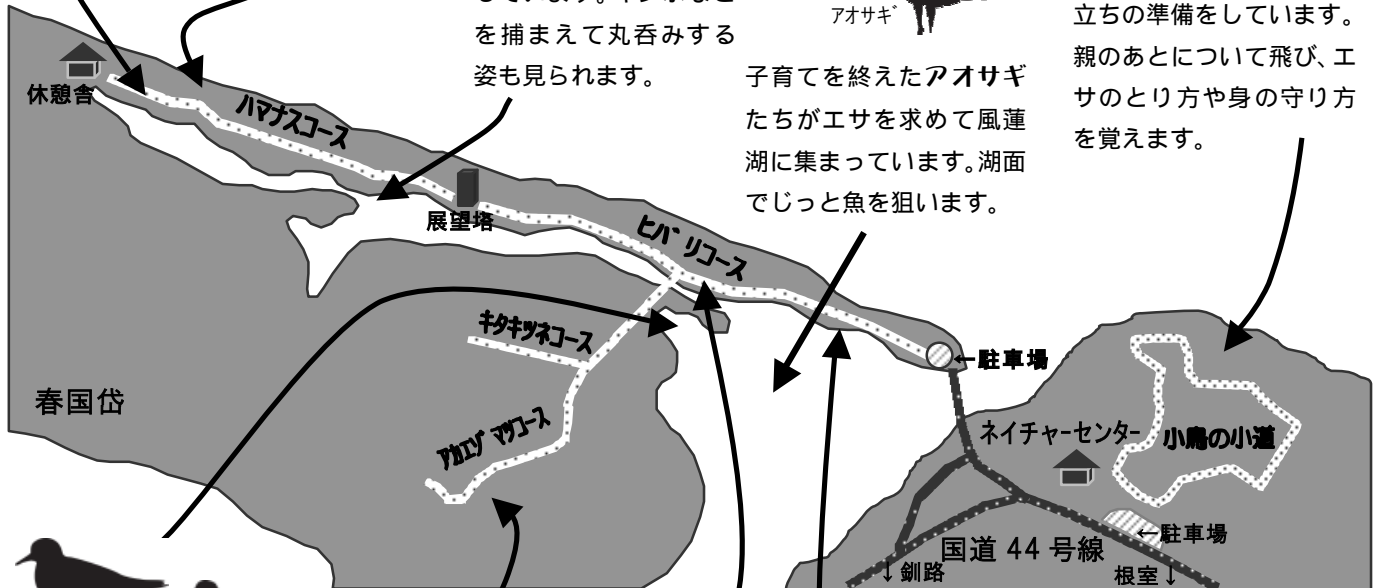
子育てを終えたアオサギたちがエサを求めて風蓮湖に集まっています。湖面でじっと魚を狙います。



コサビタキ

ミサザイ

今年生まれたヒナが独立の準備をしています。親のあとについて飛び、エサのとり方や身の守り方を覚えます。



ホトトリの仲間

ハマシギ

秋の渡りが始まります。干潟や磯場、淡水湿地などにキアシシギやハマシギ、メダイチドリなど大小さまざまなシギやチドリの仲間がやってきます。



ショウドウツバメ

ヒバリ

草原では、ヒバリの幼鳥が飛ぶ練習をしています。また、ショウドウツバメやアマツバメが、目にも止まらぬ速さで飛び回っています。

お花



エゾオグルマ

ノハナショウブ

そろそろ秋の気配です。ハマエンドウやエゾオグルマ、ウンラン、エゾカラナデシコ、ノハナショウブなどが湿地や草原を彩ります。



オオアカゲラ

森の中から、アカゲラやオオアカゲラなどが木を叩くドラミングの音が聞こえてきます。



エゾシカ

エゾシカたちは、明るい茶色の夏毛をしています。オスはまだ柔らかい袋角をつけています。

# イベント・展示情報

## ★クラフトコーナー

春国岱やネイチャーセンター周辺で拾ってきた自然の素材を使って作品を作れます。見本などを参考にしたり、自分で工夫してみたり、自由に作品を作ってみてください。必要な道具等はセンターでそろえています。

日時：8月1日(日)～8月31日(火)

9時～17時(随時)

対象：どなたでも

会場：春国岱ネイチャーセンター1階

参加費：無料、申込み：不要



【お申込み・お問合せ】 電話 0153-25-3047 (春国岱ネイチャーセンター)

## 団体の方へ～解説プログラムのご案内～

春国岱ネイチャーセンターでは、みなさんに自然を楽しんでいただくための解説プログラムをご用意しております。野外散策や室内学習など、レンジャーが春国岱の自然についてご紹介いたします。

### 【プログラム例】

- ① 野外解説・自然学習 (～2時間 / ～20名)
- ② 春国岱の自然 (映像) (15分～25分 / ～45名)
- ③ 自然クイズラリー (約1時間 / ～50名)
- ④ タンチョウ、カモ類に関する学習ゲーム (30分～2時間 / ～20名)
- ⑤ 施設概要説明 (30分～2時間 / ～45名)

上記以外にも、学習内容に合わせてプログラムをご用意いたします。

是非、ご相談ください。

- 事前にお申し込みが必要です。
- 野外での解説は、学校など自然体験を目的とした団体などに限らせていただきます。
- 詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。  
(電話 0153-25-3047)



### ～メール配信のお願い～

ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。経費削減のためご変更いただける方は、下記メールアドレスまで、ご自身のメールアドレスをお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。  
連絡先：nemu\_nc@marimo.or.jp  
※ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもご覧いただけます。

## 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

- 住所 ■ 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地
- 電話 ■ 0153-25-3047 ■FAX ■ 0153-25-8570
- HP ■ [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)
- メール ■ [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)
- 8月の開館時間 ■ 9:00～17:00
- 8月の休館日 ■ 4、11、18、25日

